

## 性能評定書

設備機器の種別	防火材等（共住区画貫通配管等）	
型式記号	IRTV-NY	
申請者	住所	大阪府大阪市西区立売堀4-11-14
	名称	因幡電機産業株式会社
	代表者氏名	代表取締役社長 喜多 肇一
性能評定番号	KK2024-009号	
性能評定日	令和6年(2024年)12月23日	
性能評定有効期限	令和10年(2028年)3月31日	
性能評定の内容	標記共住区画貫通配管等は、別添評定報告書記載の評定条件の範囲内で使用する場合において、「特定共同住宅等の住戸等の床又は壁並びに当該住戸等の床又は壁を貫通する配管等及びそれらの貫通部が一体として有すべき耐火性能を定める件」（平成17年消防庁告示第4号）に規定する耐火性能を有するものと認められる。 対象：床	

本設備機器は、一般財団法人日本消防設備安全センターの定める消防防災用設備機器性能評定規程第5条の規定に基づき、厳正なる試験を行った結果、上記の性能を有するものと認めます。



一般財団法人 日本消防設備安全センター  
理事長 西 藤 公 司



評 定 報 告 書

消防防災用設備機器性能評定委員会  
委員長 木原 正則

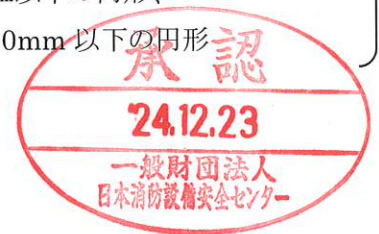
消防防災用設備機器の種類 防火材等(共住区画貫通配管等)  
型式記号 IRTV-NY  
申請者名 因幡電機産業株式会社  
大阪府大阪市西区立売堀4-11-14

評定結果

標記共住区画貫通配管等は、別記評定報告書記載の評定条件の範囲内で使用する場合において、「特定共同住宅等の住戸等の床又は壁並びに当該住戸等の床又は壁を貫通する配管等及びそれらの貫通部が一体として有すべき耐火性能を定める件」(平成17年消防庁告示第4号)に規定する耐火性能を有するものと認められる。

対象:床

- 構造 : 厚さ 100mm 以上  
(鉄筋コンクリート、鉄骨鉄筋コンクリート又は軽量気泡コンクリート)
- 開口部 : 硬質ポリ塩化ビニル管のうち、呼び径 200A 以下のものにあつては直径 300 mm 以下、  
呼び径 150A 以下のものにあつては直径 230 mm 以下の円形、  
ポリエチレン管のうち、呼び径 100A 以下のものにあつては直径 200 mm 以下の円形、  
被覆材付ポリエチレン管のうち、呼び径 100A 以下にあつては直径 300mm 以下の円形
- 配管用途 : 給水管、排水管、排水管に付属する通気管



別記

I 評価概要

1 構造及び材料

(1) 構造及び寸法

本製品は、熱膨張性シート（本体）の表面に表面材と裏面材を貼り付けたものでありその構造を図-1、寸法及び部位の説明を表-1，2に示す。

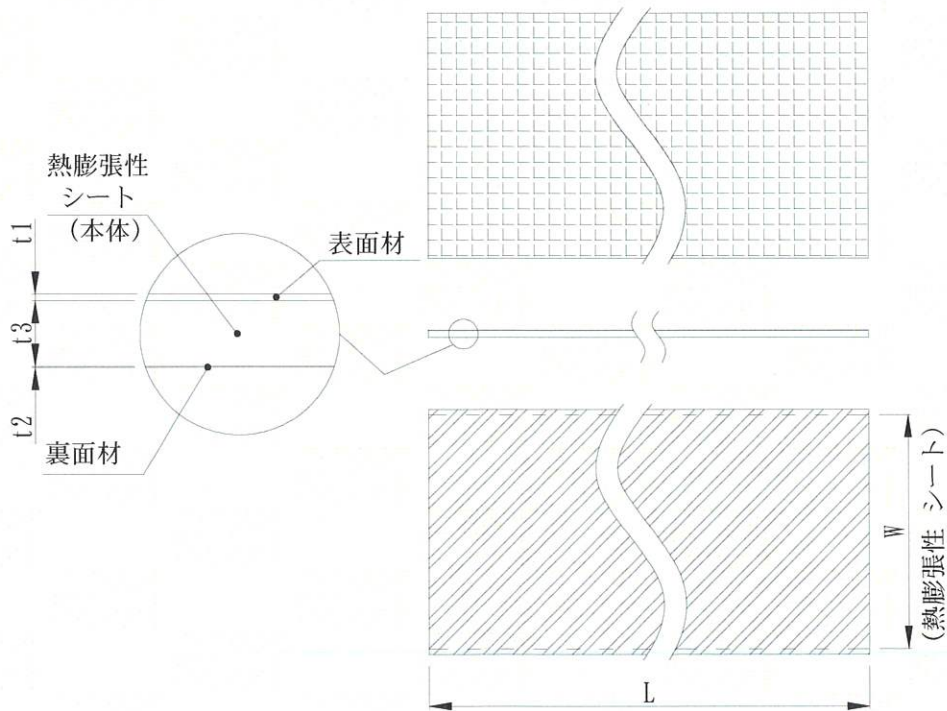


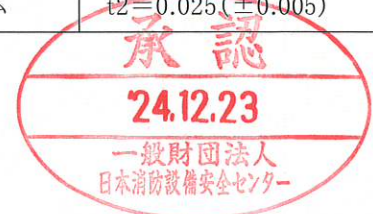
図-1 構造図

表-1 製品寸法 [単位：mm]

型番	幅(W)	長さ(L)
IRTV-NY	105(+4,-0)	1,500(+50,-0)

表-2 部位寸法 [単位：mm]

部位	部位名称	厚さ
表面材	ガラス繊維強化アルミニウム系テープ	t1=0.18(±0.1)
熱膨張性シート(本体)	黒鉛含有ブチルゴム	t3=3.0(+0.7,-0)
裏面材	ポリオレフィン系-ポリエステル系積層フィルム	t2=0.025(±0.005)



(2) 材料

ア 熱膨張性シート

(7) 組成 (質量%)


(i) 熱膨張性シートの物理的性質

項目	特性値	試験条件
比重		
膨張開始温度		
熱膨張倍率		

イ スリーブ

開口に埋め戻すスリーブの仕様は次の通りである。

仕 様：あり又はなし

材 料：鋼製（めっき処理、焼付塗装品含む）

厚 さ：0.25mm 以上

高 さ：床面から 100 mm 以下

使用方法：2 配管の種類等 (3) に掲げる表の配管区分に応じて施工する。

ウ 化粧カバー

硬質ポリ塩化ビニル管を配管した際に、床下面に貼り付けるもので仕様は次の通りである。

仕 様：あり又はなし

材 料：アルミニウムはく張ポリエチレンフォーム（アクリル樹脂系粘着剤あり）

厚 さ：3mm 以下

大きさ：400×400mm 以下

使用方法：2 配管の種類等 (3) に掲げる表の配管区分に応じて使用する。



エ 被覆材

ポリエチレン管に被覆するもので仕様は次の通りである。

材 料：アルミニウムはく付グラスウール

<表 面 材>

材 料：アルミニウムはく張クラフト紙

<基 材>

材 料：グラスウール (JIS A 9504)

厚 さ：50 (+8、-0) mm

密 度：22kg/m<sup>3</sup>以上

< 網 >

材 料：塩化ビニル樹脂被覆付鉄線

オ 粘着テープ

熱膨張性シート、被覆材、ケーブルの固定に使用する粘着テープは、ポリオレフィン系テープを用いる。

カ 充てん材

配管とスリーブ、配管と貫通穴、スリーブと貫通穴との隙間に充てんする充てん材は、セメントモルタル(セメント：1に対して砂：3の重量割合)である。



## 2 配管の種類等

(1) 貫通部に配管する管の種類及び寸法は次のア～ウで開口径に1本とする。

ア 硬質ポリ塩化ビニル管（外径 216mm 以下）

イ ポリエチレン管（外径 125mm 以下）

ウ 被覆材付ポリエチレン管（外径 225mm 以下）

被覆材：アルミニウムはく付グラスウール（外径 225mm 以下 厚さ 50mm 以下）

ポリエチレン管（外径 125mm 以下）

(2) 配管の寸法及び構造は次の通りである。

ア 硬質ポリ塩化ビニル管

硬質ポリ塩化ビニル管は、JIS K 6741、6742 または 6776 に規定するものであり、その種類および寸法などは以下の通りである。

(7) 種類

硬質ポリ塩化ビニル管（JIS K 6741） 記号：VP、HIVP、VU

水道用硬質ポリ塩化ビニル管（JIS K 6742） 記号：VP、HIVP

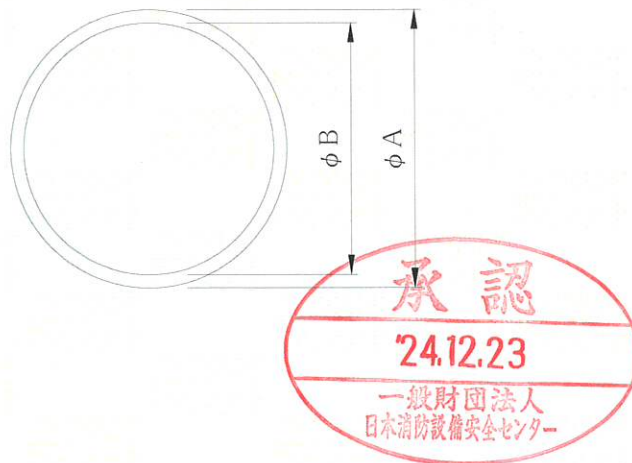
耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管（JIS K 6776） 記号：HT

※JISに規定する外径及び厚さ以外の管については、材料の機械的特性等と同等である。

(i) 寸法

[単位：mm]

呼び径	外径( $\phi A$ )	概略内径( $\phi B$ )
200A 以下	216 以下	202 以下



イ ポリエチレン管

一般用ポリエチレン管 (JIS K 6761)

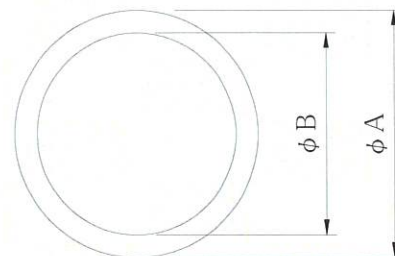
[単位：mm]

呼び径	外径 $\phi A$	近似内径 $\phi B$
100 以下	114 以下	101.1 以下

日本水道協会規格 (JWWA K 144)

[単位：mm]

呼び径	外径 $\phi A$	近似内径 $\phi B$
100 以下	125 以下	100.8 以下



日本ポリエチレンパイプシステム協会規格 (JP K 001)

[単位：mm]

呼び径	外径 $\phi A$	近似内径 $\phi B$
65 以下	75 以下	60.9 以下

国際標準化規格 (ISO4427)

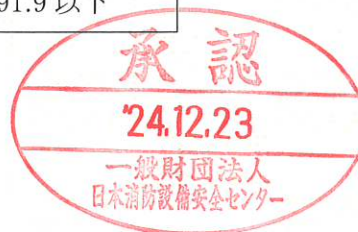
[単位：mm]

呼び径	外径 $\phi A$	近似内径 $\phi B$
100 以下	125 以下	102.2 以下

建築設備用ポリエチレンパイプシステム研究会規格 (PWA001 および PWA005)

[単位：mm]

呼び径	外径 $\phi A$	近似内径 $\phi B$
100 以下	114 以下	91.9 以下



ウ 被覆材付ポリエチレン管

(被覆材：アルミニウムはく付グラスウール、網：塩化ビニル樹脂被覆付鉄線)

[単位：mm]

外径 φA	近似内径 φB
225 以下	102.2 以下

挿入ケーブルの仕様は次の通りである。

仕 様：あり又はなし

種 類：次の(ア)～(ウ)のいずれかである。

(ア) テープヒーターSC 型

外径：12.4 mm×5.1 mm

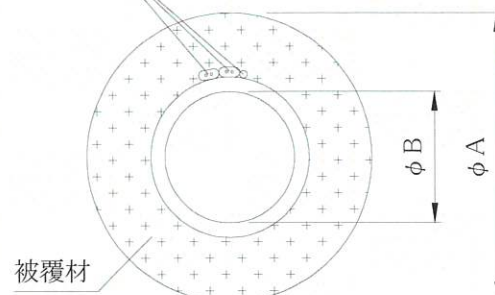
(イ) DSR (x) 型

外径：7.7 mm×4.2 mm

(ウ) エコフィットヒーター

外径：4.5 mm

挿入ケーブル  
(あり又はなし)



(3) 床を貫通させる配管の種類及び寸法ごとにおける仕様（開口径、スリーブ及び化粧カバーの有無、熱膨張性シート巻き数）は以下のとおりとする。

配管			施工仕様						
種類	呼び径	外径	開口径	スリーブ		化粧 カバー	IRT V-NY		
				仕様	床上部 露出寸法		施工 位置	巻き数	幅
硬質ポリ塩化 ビニル管 (VP, VU, HIVP, HT)	200A 以下	216mm 以下	300 mm 以下	あり又は なし	0mm	あり又は なし	床上	2周以上	95mm 以上
	150A 以下	165mm 以下	230 mm 以下	あり又は なし	100mm 以下	あり又は なし	床上	1周以上	
				なし	—	なし	床下	1周以上	
ポリエチレン管	100A 以下	125mm 以下	200 mm 以下	あり又は なし	0mm	なし	床上	1周以上	
被覆材付 ポリエチレン管	100A 以下	225mm 以下	300 mm 以下	あり又は なし	0mm	なし	床上	1周以上	





### 3 施工仕様

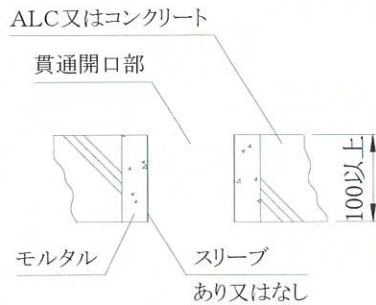
鉄筋コンクリート、鉄骨鉄筋コンクリートまたは軽量気泡コンクリートからなる床に対し以下の手順で行うこと。

#### (1) 施工手順

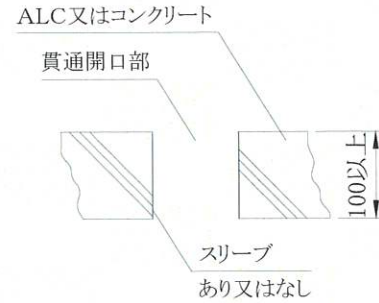
##### ア 貫通穴の設置

ボイド管やコアドリルなどを用いて貫通穴を設ける。

スリーブを用いる場合は、開口にモルタルで埋め戻すか、もしくはコンクリートを打設して設ける。



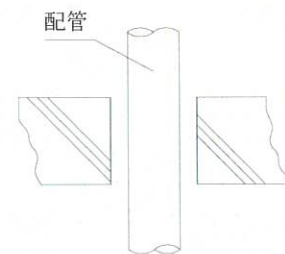
<スリーブをモルタルで埋め戻しする場合>



<スリーブをコンクリートで打設する場合>

##### イ 配管の設置

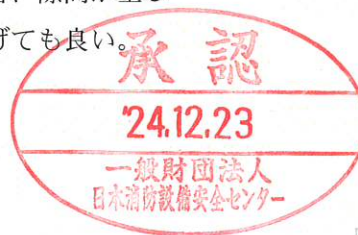
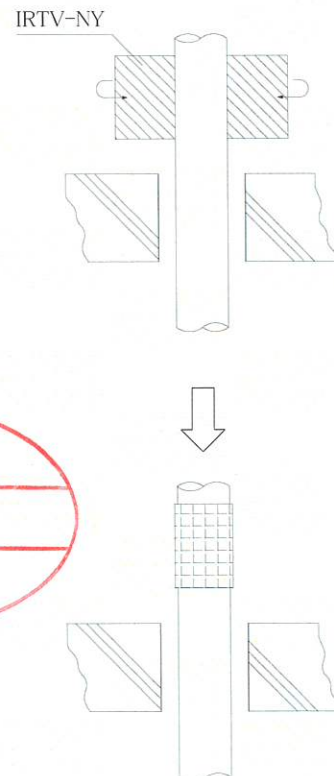
配管を設置して支持・固定する。



##### ウ IRTV-NYの巻き付け

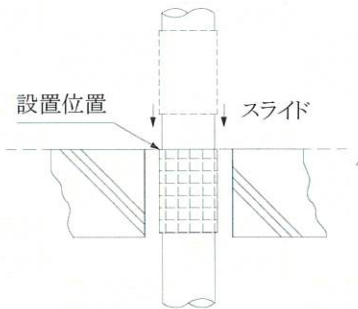
配管に IRTV-NY を 1 周以上巻き付け (突き合わせまたはオーバーラップ) (ただし、硬質ポリ塩化ビニル管は、外径 165mm を超え外径 216mm 以下の場合には 2 周以上巻き付け)、粘着テープで IRTV-NY を固定する。

IRTV-NY の長さが足りない場合、隙間が生じないように IRTV-NY を 2 枚繋げても良い。

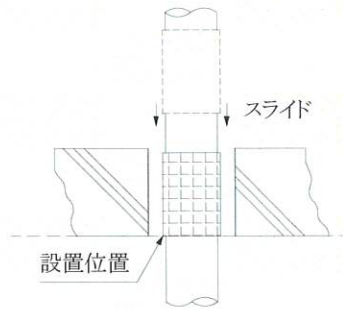


エ IRTV-NYの設置

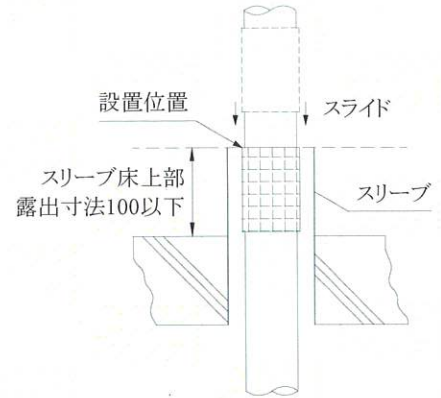
IRTV-NYを95mm以上埋め戻すようにスライドさせる。熱膨張性シートの幅が95mmを超える場合は、超えた分が床からはみ出しても良い。



〈床上に設置する場合〉



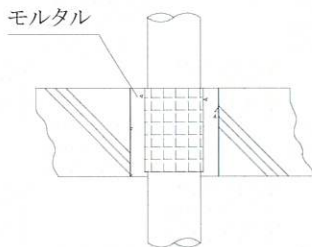
〈床下に設置する場合〉



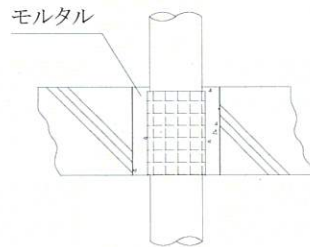
〈スリーブが床上部に露出する場合〉

オ モルタルの埋め戻し

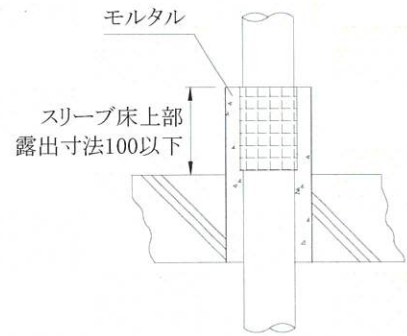
配管とスリーブもしくは配管と貫通穴の隙間に、モルタルを密に充てんする。



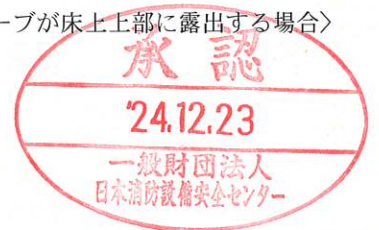
〈床上に設置する場合〉



〈床下に設置する場合〉



〈スリーブが床上部に露出する場合〉



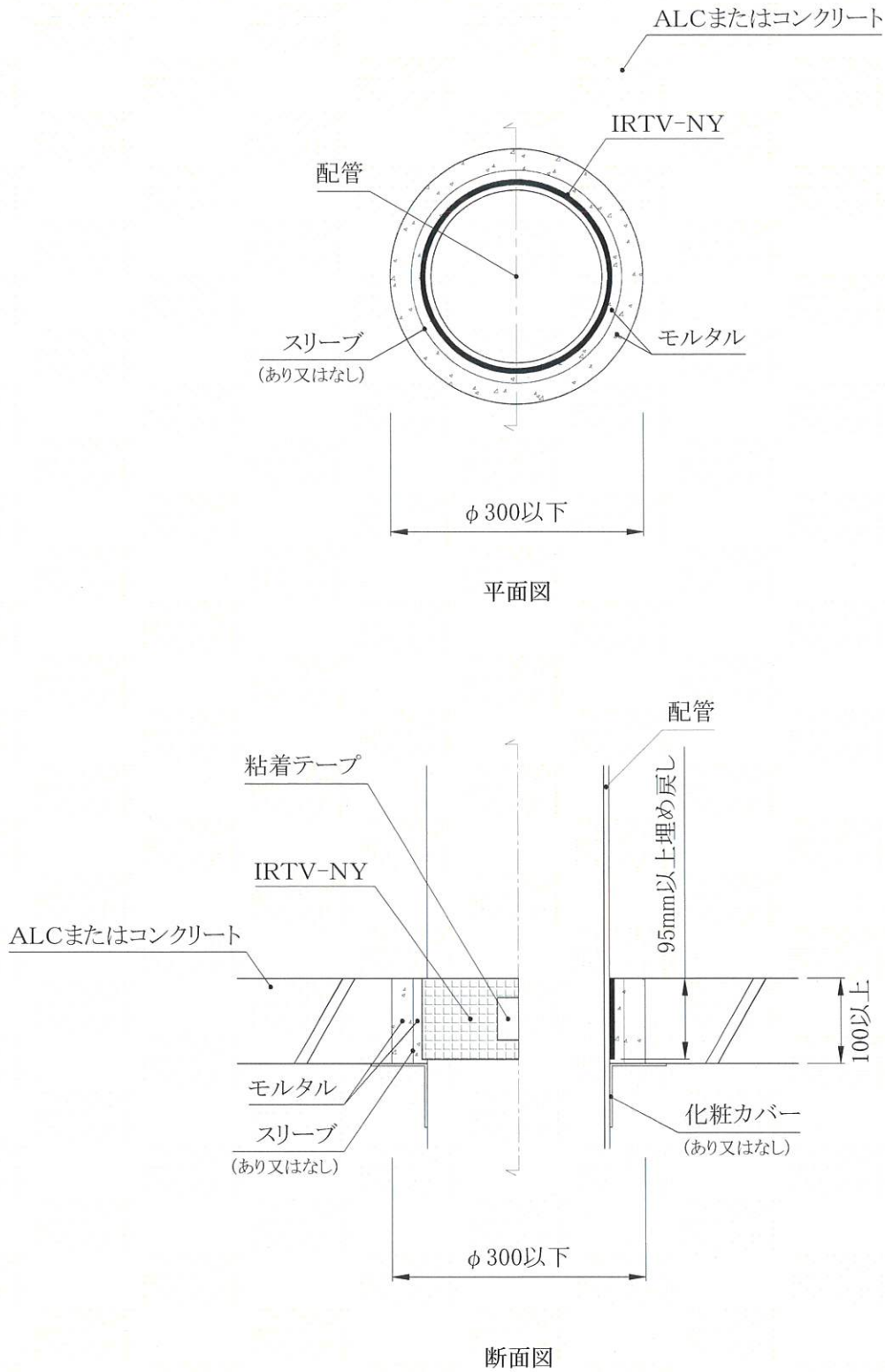
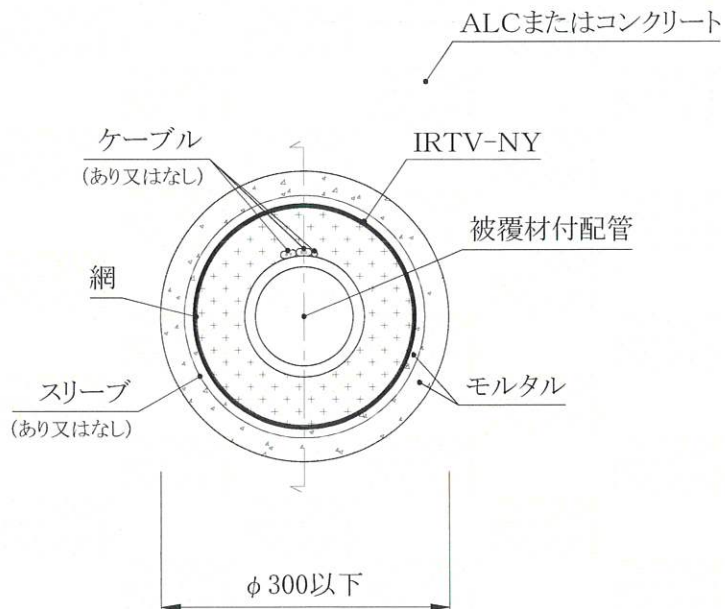
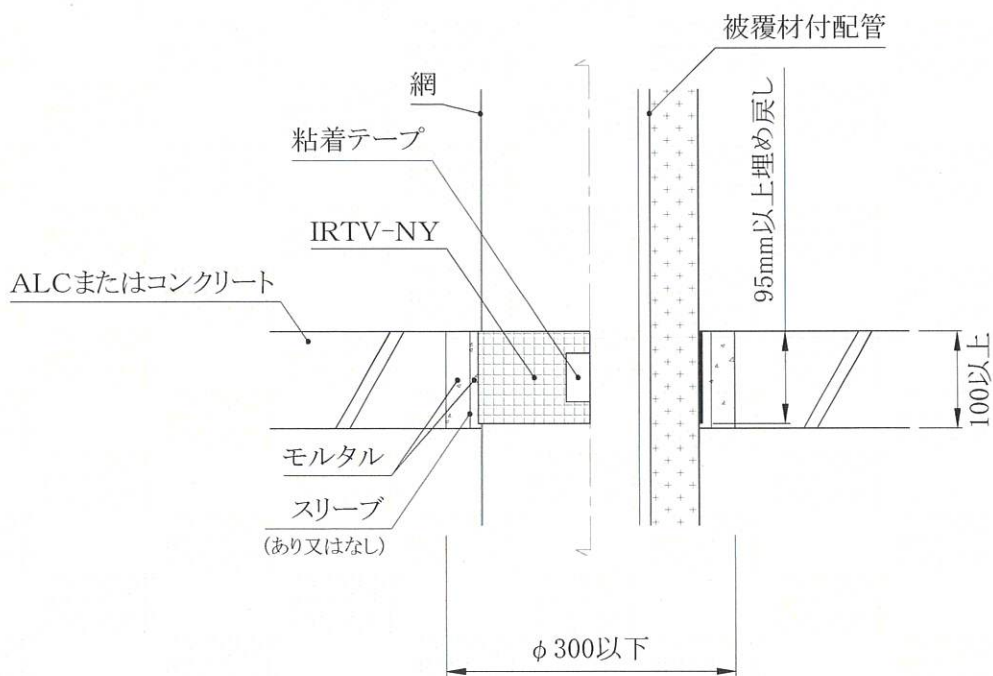


図-2 配管貫通の一例  
(IRTV-NYを床上部に使用する場合)





平面図



断面図

図-3 被覆材配管貫通の一例



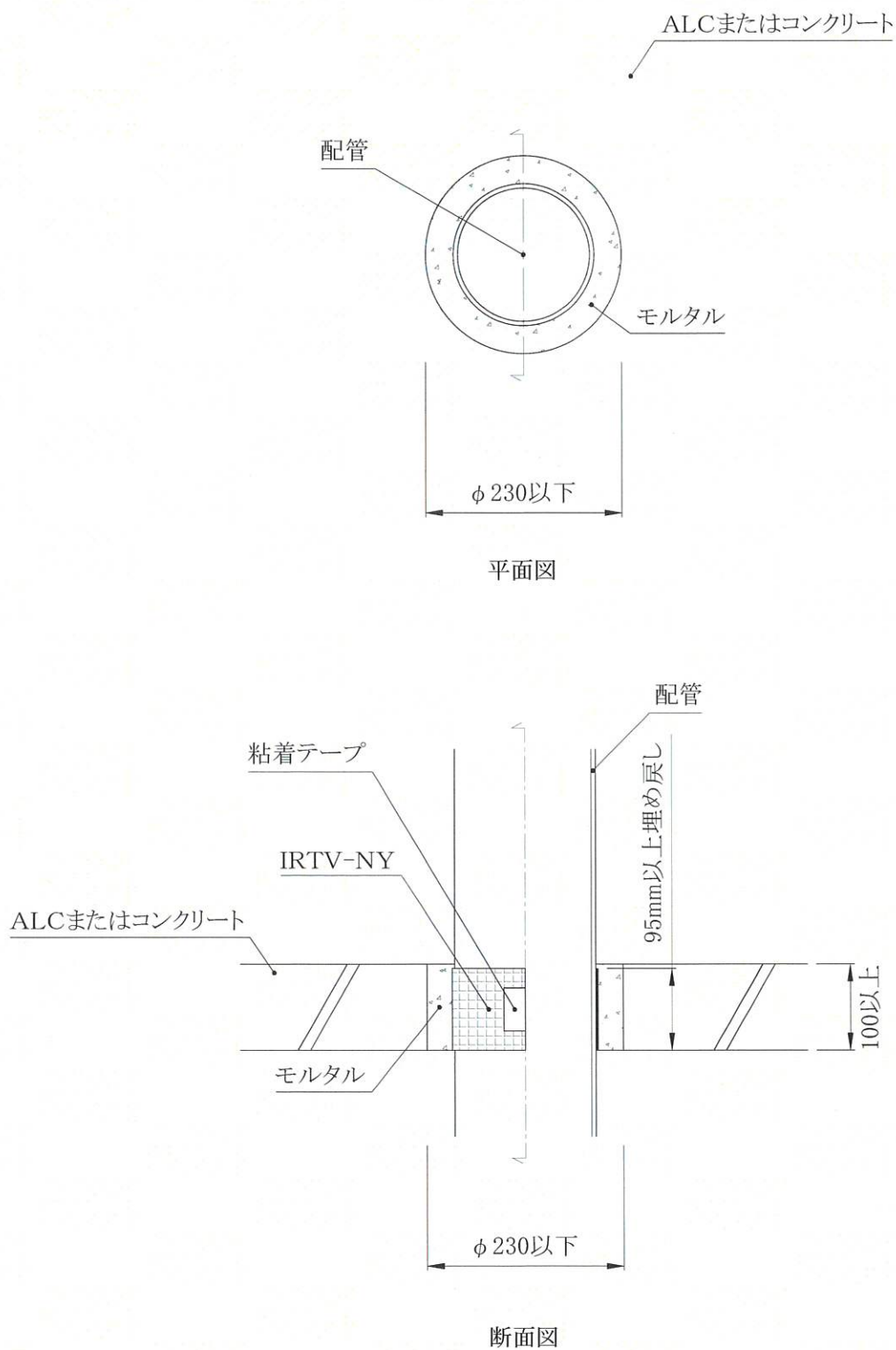


図-4 配管貫通の一例  
(IRTV-NYを床下部に使用する場合)



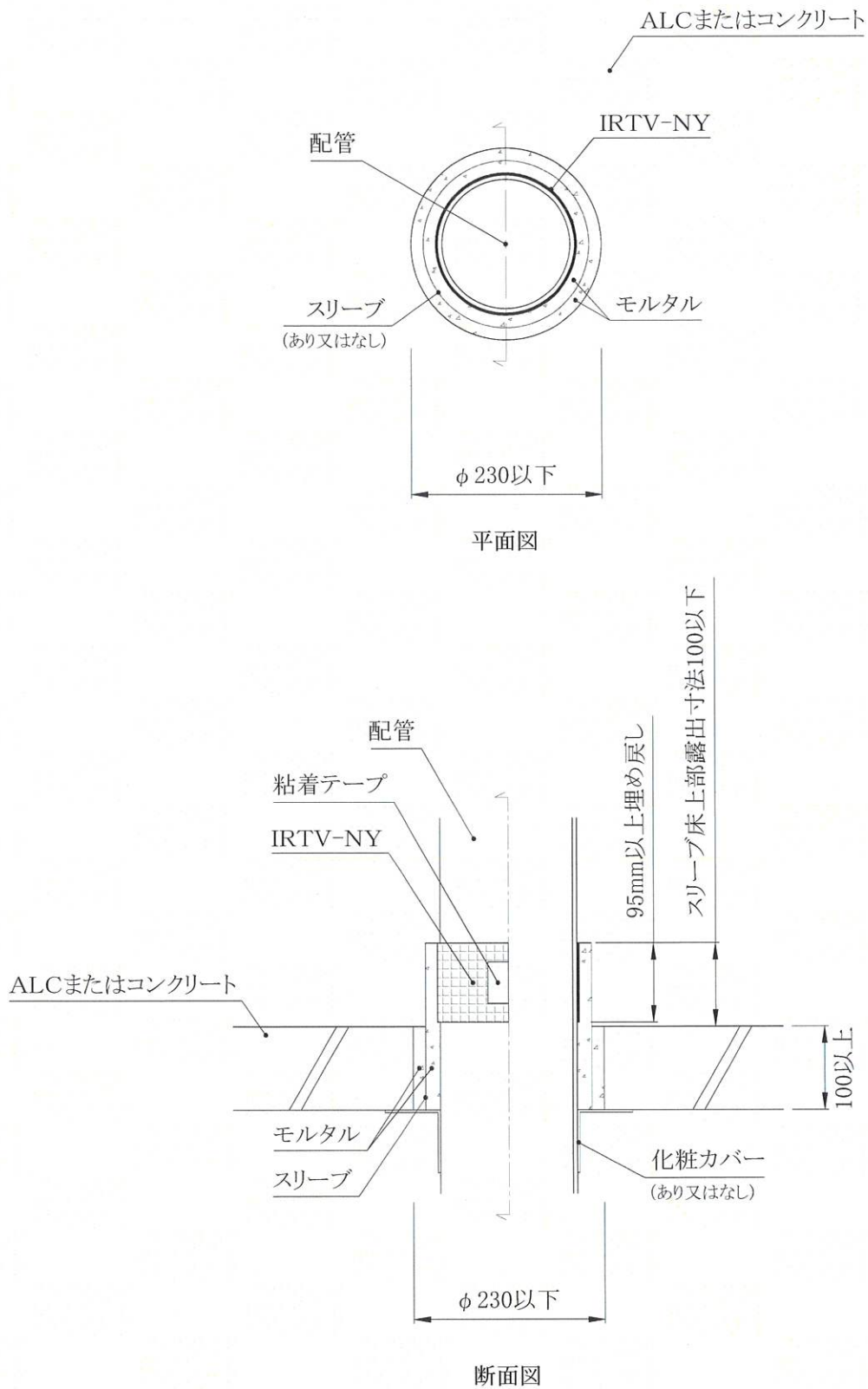


図-5 配管貫通の一例  
(スリーブが床上上部に露出する場合)



#### 4 試験結果の概要

本工法の床貫通の耐火性能については、次のとおりである。

試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 A1、A2	IRTV-NY を非加熱側に 2 周巻き付け (熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 300mm 4 貫通配管 硬質ポリ塩化ビニル管 (外径 216mm) 1 本 記号: VU 5 スリーブ あり (床上部露出寸法: 0mm) 6 化粧カバー あり	良 (1 時間耐火)

試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 B1、B2	IRTV-NY を非加熱側に 2 周巻き付け (熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 300mm 4 貫通配管 硬質ポリ塩化ビニル管 (外径 216mm) 1 本 記号: VP 5 スリーブ あり (床上部露出寸法: 0mm) 6 化粧カバー あり	良 (1 時間耐火)

試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 C1、C2	IRTV-NY を非加熱側に 1 周巻き付け (熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 230mm 4 貫通配管 硬質ポリ塩化ビニル管 (外径 165mm) 1 本 記号: VU 5 スリーブ あり (床上部露出寸法: 0mm) 6 化粧カバー あり	良 (1 時間耐火)



試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 D1、D2	IRTV-NY を非加熱側に 1 周巻き付け (熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 230mm 4 貫通配管 硬質ポリ塩化ビニル管 (外径 165mm) 1 本 記号 : VP 5 スリーブ あり (床上部露出寸法 : 0mm) 6 化粧カバー あり	良 (1 時間耐火)

試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 G1、G2	IRTV-NY を非加熱側に 1 周巻き付け (熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 300mm 4 貫通配管 被覆材付ポリエチレン管 (外径 225mm) 1 本 被覆材 : アルミニウムはく付グラスウール 外径 225mm 厚さ 50mm 網 : 塩化ビニル樹脂被覆付鉄線 ポリエチレン管 : 外径 125mm ケーブル : 5 スリーブ あり (床上部露出寸法 : 0mm) 6 化粧カバー なし	良 (1 時間耐火)

試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 GG1、GG2	IRTV-NY を非加熱側に 1 周巻き付け (熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 200mm 4 貫通配管 ポリエチレン管 (外径 125mm) 1 本 5 スリーブ あり (床上部露出寸法 : 0mm) 6 化粧カバー なし	良 (1 時間耐火)





試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 H1、H2	IRTV-NY を非加熱側に1周巻き付け(熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 230mm 4 貫通配管 硬質ポリ塩化ビニル管 (外径 165mm) 1本 記号: VU 5 スリーブ あり (床上部露出寸法: 100mm) 6 化粧カバー あり	良 (1時間耐火)

試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 I	IRTV-NY を非加熱側に1周巻き付け(熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 230mm 4 貫通配管 硬質ポリ塩化ビニル管 (外径 165mm) 1本 記号: VU 5 スリーブ あり (床上部露出寸法: 100mm) 6 化粧カバー なし	良 (1時間耐火)

試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 J	IRTV-NY を非加熱側に1周巻き付け(熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 300mm 4 貫通配管 被覆材付ポリエチレン管 (外径 225mm) 1本 被覆材: アルミニウムはく付グラスウール 外径 225mm 厚さ 50mm 網: 塩化ビニル樹脂被覆付鉄線 ポリエチレン管: 外径 125mm ケーブル: 5 スリーブ なし 6 化粧カバー なし	良 (1時間耐火)



試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 T	IRTV-NY を非加熱側に 2 周巻き付け (熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 300mm 4 貫通配管 硬質ポリ塩化ビニル管 (外径 216mm) 1 本 記号: VU 5 スリーブ なし 6 化粧カバー あり	良 (1 時間耐火)

試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 U	IRTV-NY を非加熱側に 2 周巻き付け (熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 300mm 4 貫通配管 硬質ポリ塩化ビニル管 (外径 216mm) 1 本 記号: VP 5 スリーブ なし 6 化粧カバー あり	良 (1 時間耐火)

試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 V	IRTV-NY を非加熱側に 2 周巻き付け (熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 300mm 4 貫通配管 硬質ポリ塩化ビニル管 (外径 216mm) 1 本 記号: VU 5 スリーブ なし 6 化粧カバー なし	良 (1 時間耐火)



試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 W	IRTV-NY を非加熱側に 2 周巻き付け (熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 300mm 4 貫通配管 硬質ポリ塩化ビニル管 (外径 216mm) 1 本 記号: VP 5 スリーブ なし 6 化粧カバー なし	良 (1 時間耐火)

試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 X	IRTV-NY を非加熱側に 1 周巻き付け (熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 230mm 4 貫通配管 硬質ポリ塩化ビニル管 (外径 165mm) 1 本 記号: VU 5 スリーブ あり (床上部露出寸法: 0mm) 6 化粧カバー なし	良 (1 時間耐火)

試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 Y	IRTV-NY を非加熱側に 1 周巻き付け (熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 230mm 4 貫通配管 硬質ポリ塩化ビニル管 (外径 165mm) 1 本 記号: VP 5 スリーブ あり (床上部露出寸法: 0mm) 6 化粧カバー なし	良 (1 時間耐火)



試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 Z	IRTV-NY を非加熱側に 1 周巻き付け (熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 230mm 4 貫通配管 硬質ポリ塩化ビニル管 (外径 165mm) 1 本 記号 : VP 5 スリーブ あり (床上部露出寸法 : 100mm) 6 化粧カバー あり	良 (1 時間耐火)

試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 AA	IRTV-NY を非加熱側に 1 周巻き付け (熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 230mm 4 貫通配管 硬質ポリ塩化ビニル管 (外径 165mm) 1 本 記号 : VP 5 スリーブ あり (床上部露出寸法 : 100mm) 6 化粧カバー なし	良 (1 時間耐火)

試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 BB	IRTV-NY を非加熱側に 1 周巻き付け (熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 230mm 4 貫通配管 硬質ポリ塩化ビニル管 (外径 165mm) 1 本 記号 : VU 5 スリーブ なし 6 化粧カバー あり	良 (1 時間耐火)



試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 CC	IRTV-NY を非加熱側に1周巻き付け(熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 230mm 4 貫通配管 硬質ポリ塩化ビニル管 (外径 165mm) 1 本 記号: VP 5 スリーブ なし 6 化粧カバー あり	良 (1時間耐火)

試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 DD	IRTV-NY を非加熱側に1周巻き付け(熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 230mm 4 貫通配管 硬質ポリ塩化ビニル管 (外径 165mm) 1 本 記号: VU 5 スリーブ なし 6 化粧カバー なし	良 (1時間耐火)

試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 EE	IRTV-NY を非加熱側に1周巻き付け(熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 230mm 4 貫通配管 硬質ポリ塩化ビニル管 (外径 165mm) 1 本 記号: VP 5 スリーブ なし 6 化粧カバー なし	良 (1時間耐火)



試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 FF	IRTV-NY を加熱側に1周巻き付け(熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 230mm 4 貫通配管 硬質ポリ塩化ビニル管 (外径 165mm) 1本 記号: VU 5 スリーブ なし 6 化粧カバー なし	良 (1時間耐火)

試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 GG	IRTV-NY を加熱側に1周巻き付け(熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 230mm 4 貫通配管 硬質ポリ塩化ビニル管 (外径 165mm) 1本 記号: VP 5 スリーブ なし 6 化粧カバー なし	良 (1時間耐火)

試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 HH	IRTV-NY を非加熱側に1周巻き付け(熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 300mm 4 貫通配管 被覆材付ポリエチレン管 (外径 225mm) 1本 被覆材: アルミニウムはく付グラスウール 外径 225mm 厚さ 50mm 網: 塩化ビニル樹脂被覆付鉄線 ポリエチレン管: 外径 125mm 5 スリーブ あり (床上部露出寸法: 0mm) 6 化粧カバー なし	良 (1時間耐火)



試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 II	IRTV-NY を非加熱側に 1 周巻き付け (熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 300mm 4 貫通配管 被覆材付ポリエチレン管 (外径 225mm) 1 本 被覆材: アルミニウムはく付グラスウール 外径 225mm 厚さ 50mm 網 : 塩化ビニル樹脂被覆付鉄線 ポリエチレン管: 外径 125mm 5 スリーブ なし 6 化粧カバー なし	良 (1 時間耐火)

試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 R	IRTV-NY を非加熱側に 2 周巻き付け (熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 300mm 4 貫通配管 硬質ポリ塩化ビニル管 (外径 216mm) 1 本 記号: VU 5 スリーブ あり (床上部露出寸法: 0mm) 6 化粧カバー なし	良 (1 時間耐火)

試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 S	IRTV-NY を非加熱側に 2 周巻き付け (熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 300mm 4 貫通配管 硬質ポリ塩化ビニル管 (外径 165mm) 1 本 記号: VP 5 スリーブ あり (床上部露出寸法: 0mm) 6 化粧カバー なし	良 (1 時間耐火)



試験項目	試験内容	試験結果
区画貫通部の耐火性能 (床) 試験体 JJ	IRTV-NY を非加熱側に 1 周巻き付け (熱膨張性シート幅 95mm を貫通部に設置) 1 床厚 100mm 2 床材質 軽量気泡コンクリート (ALC パネル) 3 開口部 直径 200mm 4 貫通配管 ポリエチレン管 (外径 125mm) 1 本 5 スリーブ なし 6 化粧カバー なし	良 (1 時間耐火)

## II 評定条件

### 1 施工上の条件

- (1) 共住区画を構成する鉄筋コンクリート、鉄骨鉄筋コンクリートまたは軽量気泡コンクリートの床（以下「耐火構造の床」という。）に給水管、排水管、排水管に付属する通気管が貫通する部位に適用すること。
- (2) 配管などを貫通させるために設ける開口部の大きさ（直径）は、硬質ポリ塩化ビニル管のうち呼び径 200A 以下のものにあつては直径 300 mm 以下、呼び径 150A 以下のものにあつては直径 230 mm 以下、ポリエチレン管のうち呼び径 100A 以下のものにあつては直径 200 mm 以下、被覆材付ポリエチレン管のうち呼び径 100A 以下にあつては直径 300mm 以下の円形であること。
- (3) 配管を貫通するために区画に設ける穴相互の離隔距離は、貫通するために設ける穴の直径の大なる方の距離以上（当該直径が 200mm 以下の場合にあつては 200mm 以上）であること。ただし、住戸等と共有部分との間の耐火構造の床にあつては、適用しない。
- (4) 開口部を貫通する配管は、「別記 I 概要 2 配管の種類等」に記すところによること。
- (5) 厚さ 100mm 以上の耐火構造の床に適用すること。
- (6) 共住区画を構成する床が軽量気泡コンクリートにあつては、貫通部が目地部に位置しないように施工すること。
- (7) 貫通部は、施工仕様にもとづく詳細な施工方法に関するマニュアルにより施工すること。

### 2 品質管理上の条件

熱膨張材を で 加熱したときの膨張倍率が 以上であることを製造ロットごとに確認すること。

